

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	1	必修
担当教員			
永井 正幸, 青谷 理子, 活田 真理, 辛島 則子, 木村 直美, 阪口 章子, 門田 成夫, 岩田 陽子, 山岡 真弓			
金3, 金4			
添付ファイル			

科目の概要	音楽教育において重要な役割を担うピアノに関する基礎知識・技術を教授する。本学のグレード制に基づき、ピアノ初心者グループ（グレード1及び2）と既習者グループ（グレード3以上）の2グループに分ける。グレード1及び2グループでは、正確な読譜と演奏ができるよう、基礎力を育成する。グレード3以上のグループでは、ML週・ピアノ週を交互に設定、ML週では保育現場に必要なリズム曲を指導する。ピアノ週では、グレード別課題曲（バイエル・ブルクミュラー・ソナチネアルバム）を個々の進度に応じて学ぶ授業を行い、演奏技術・表現技術の向上を図る。
授業の内容	<p>第1回 本科目の説明、G1～2：楽譜の読み方(五線譜について) G3以上(ML週)：リズム曲の説明 授業の進め方について、学習目標の説明。 本科目では、以下の本学ピアノグレード課題曲及びリズム曲を、進度に合わせて学ぶ。</p> <p>(ピアノグレード課題曲の範囲) グレード1～4：バイエル3番～105番まで複数曲 グレード5～7：ブルクミュラー、ソナチネアルバムⅠ巻・Ⅱ巻から複数曲 グレード8～9：ソナタアルバムⅠ巻・Ⅱ巻から 複数曲 グレード10：自由曲</p> <p>(リズム曲・主要学習曲) きらきら星、気のいいあひる みつばちマーチ、ジャバマーチ、かわいいオーガスティン等 G1～2：ピアノ演奏時の姿勢、楽譜の読み方(大譜表形式、拍子・音名など) G3以上(ピアノ週)：課題曲(正確な譜読み)</p> <p>G1～2：ピアノを弾くにあたり重要な演奏時の姿勢・手の形などを学ぶ。 G3以上：進度に合わせて選択されたグレード課題曲の譜読みを行う。</p> <p>第2回 G1～2：課題曲、楽譜の読み方(音符・休符) G3以上(ML週)：リズム曲複数曲(譜読み・練習方法)</p> <p>G1～2：楽譜の基礎事項を学ぶ。 G3以上：リズム学習曲の譜読み、曲想表現を考えた練習方法を学ぶ。</p> <p>第3回 G1～2：課題曲、楽譜の読み方(リズム) G3以上(ピアノ週)：課題曲(指使いについて)</p> <p>G1～2：楽譜の基礎事項を学ぶ。 G3以上：楽曲を学ぶにあたり重要事項のひとつである運指法について、学びを深める。</p> <p>第4回 G1～2：課題曲、楽譜の読み方(指使い) G3以上(ML週)：リズム曲複数曲(譜読み終了)</p> <p>G1～2：楽譜の基礎事項(運指法)を学ぶ。 G3以上：リズム学習曲の譜読みを終え、楽曲表現方法について学ぶ。</p> <p>第5回 G1～2：課題曲(大譜表形式の練習) G3以上(ピアノ週)：課題曲(拍子・リズムの研究)</p> <p>G1～2：大譜表形式の楽譜に慣れる。 G3以上：拍子やリズムの表現方法について学ぶ。</p> <p>第6回 G1～2：課題曲(大譜表形式の練習) G3以上(ML週)：リズム曲複数曲(曲想表現)</p> <p>G1～2：課題曲を進める。 G3以上：リズム学習曲の曲想表現について、拍子・演奏速度・強弱などを工夫しながら学ぶ。</p> <p>第7回 G1～2：バイエル実技小テストに向けて(仕上げ) G3以上(ピアノ週)：課題曲(速度記号/標語の研究)</p> <p>G1～2：バイエル実技小テスト曲の暗譜演奏に向けて準備する。 G3以上：楽曲演奏に必要な音楽用語について学ぶ。</p> <p>第8回 G1～2：バイエル実技小テスト G3以上(ML週)：リズム曲複数曲(暗譜・通し練習)</p> <p>G1～2：バイエル実技小テスト。 G3以上：リズム曲テストにおいて課題曲の暗譜演奏ができるように準備する。</p> <p>第9回 G1～2：課題曲(拍子・リズム) G3以上(ピアノ週)：課題曲(左右の強弱バランスについて)</p> <p>G1～2：拍子やリズムの理論的な学びを通して、演奏の正確性を向上させる。 G3以上：楽曲演奏における左右の音量や表現バランスを学ぶ。</p> <p>第10回 G1～2：課題曲(左右のバランスについて) G3以上(ML週)：リズム学習曲実技試験</p> <p>G1～2：楽曲演奏における左右の音量バランスについて学ぶ。 G3以上：リズム学習曲実技試験</p> <p>第11回 G1～2：課題曲(実技試験曲の譜読みを含む) G3以上(ピアノ週)：課題曲(実技試験曲譜読み)</p> <p>G1～2：前期定期試験に向けて、課題曲を選択する。 G3以上：前期定期試験に向けて、課題曲を選択する。</p> <p>第12回 G1～2：実技試験曲(譜読み・練習方法) G3以上(ピアノ週)：実技試験曲(練習方法)</p> <p>G1～2：試験曲の譜読みを進め、演奏技術向上のための効果的な練習方法について学ぶ。 G3以上：試験曲の演奏技術向上に必要な効果的な練習方法について学ぶ。</p> <p>第13回 G1～2：実技試験曲(通し練習) G3以上(ピアノ週)：実技試験曲(曲想表現)</p> <p>G1～2：試験曲に必要な技術的学びを深め、通し練習を行う。 G3以上：試験曲の曲想表現を工夫する。</p> <p>第14回 G1～2：実技試験曲の仕上げ(暗譜を含む) G3以上(ピアノ週)：ピアノ週：実技試験曲の仕上げ</p>

	(暗譜を含む) G 1～2：試験曲を暗譜で演奏できるようにする。 G 3以上：試験曲を暗譜で演奏できるようにする。 定期試験
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・大譜表形式の楽譜を正確に読むことができる。 ・基礎的なリズムが表現できる。 ・正しい運指を使うことができる。
授業の方法	実技形式。本学グレード制に基づき、ピアノ初心者（グレード1～2）と既習者グループ（グレード3以上）の2グループに分けて授業を行う。各教員の担当学生数は、4～5名となる。使用教室はML教室とピアノレッスン室である。
成績評価の方法	実技試験（定期試験・リズム曲試験・実技小テスト）と平常点による評価。 割合は、グレード1及び2のグループ（定期試験80%・実技小テスト10%・平常点10%） グレード3以上のグループ（定期試験60%・リズム曲試験30%・平常点10%）とする。
教科書・テキスト	（グレード1及び2のグループ）「全訳バイエルピアノ教則本」全音 （グレード3以上のグループ）「全訳バイエルピアノ教則本」全音 「ブルクミュラー 25の練習曲」全音 「ソナチネアルバム1 標準版」全音 「保育用 ピアノマーチ集」 一宮道子 編 全音 （両グループ共通）「やさしく学べるピアノ100」 関西地区大学音楽教育学会編著 音楽之友社
参考書	特に指定しない。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<ul style="list-style-type: none"> ・課題曲の予習曲数を2曲以上とすること。 ・基礎的な知識・技術を繰り返し勉強すること。
履修上の留意事項	
オフィスアワー	木曜日2限
担当教員への連絡方法	4-603 研究室 大学メールアドレス：m-nagai@osaka-aoyama.ac.jp
その他	